

平成 30 年度 第 2 回瑞浪市男女共同参画審議会 議事概要

日 時：平成 30 年 9 月 19 日（水）午後 3 時～

場 所：市役所 2 階 大会議室

出席者：〈会長〉渋谷典子 〈副会長〉浅沼克郎 〈委員〉工藤美佐子、伊佐治康利、
松原志津子、田中知己、足立美樹、伊藤正隆、本荘恵子、西尾栄子、
村瀬恵美子、中山征治、酒井正信、酒井秋子

欠席者：兼松仁美

1 挨拶

〈まちづくり推進部長〉

本日の会議では、主に前半 5 年間の取り組みに対する評価のまとめなどを行う。
委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、後期プランの作成につなげたい。

〈渋谷会長〉

この会議の前に、男女共同参画社会推進会議があり、3月に講演会を開催するこ
とが決まった。その場でも後期プランについて話ができると思う。本日も議事進行
に協力願います。

2 議事：以下、事務局より説明

1) 第 1 回審議会議事概要について

質問、意見等なし

2) 第 2 次みずなみ男女共同参画プラン前期評価報告書について

〈委員〉基本目標 1 課題②の施策 1 にある配偶者等暴力防止の取り組みで、施策名
の「女性に対する暴力を許さない意識」は「配偶者に対する」の方がよいのでは
ないか。

〈事務局〉施策名を統一して変更する方向で検討する。

3) 「男女共同参画に関する市民意識調査報告書」について

〈委員〉自分自身が学校教育の場に関わっていたということもあって、学校教育の
場での取り組みが高く評価されているなということは大変嬉しく思う。自分も実
践した中に、技術家庭科の男女共修とか、性にとらわれないキャリア教育、男女
混合名簿とか心の教育など、PTA・保護者に対しての啓発活動といったような
こともあって、それなりに成果が出てきているのかなと思う。

年代でいうと今の 40 代の前半ぐらいから、少しずつ変わりつつあるのではな
いか。実際に生徒会活動だとか、授業の中の様子を見ていて、教職員も女性の割
合が増えてきて、こんなこと言っては失礼かもしれないが、女性のほうが優秀だ
と思うぐらいの場面があったと思う。利害関係が生まれないので、ある意味、理
想社会のような感じでうまく回っていたのかもしれないが、中学、高校、大学へ

行って、社会に出た時に、実際の厳しさに気づく。教育の段階と実際社会に出たときとのギャップが大きいので、その辺で戸惑いやら混乱が起きるのかなと思う。

前期評価報告書の 8 ページ、課題 3 に事業主を対象とした講座も取組としてあるが、結局一般企業の経営者の考え方、社会が変わってこない、意識だけ変わっても、実際の生活には反映されにくいのではないかなと思う。一流企業のパンフレットに、「女性活躍推進を経営戦略の一つとして位置づけ、働き方に制約がある人材でも能力発揮し、会社に貢献することができる組織づくりに取り組んでいきます」とあった。やはり女性は働き方に制約がかかるということを前提にしている。具体的な取り組みとして、「多様性推進について経営者の方針の周知と職場風土の改善」「育児や介護などを経て活躍し続ける職場環境を醸成」「女性リーダー層の育成を推進」とある。企業は女性の活躍推進をすることで企業価値が高まる、広く言うと企業価値が高まるのであれば、内閣府がいろいろ言わなくたってどんどん進んでいくのではないかなと思う。働き方も 100 人いれば 100 人通りの働き方、生き方がある。その中で企業も一生懸命取り組んでいるが、瑞浪市としても、しっかりと事業者のほうに有効性のある働きかけがあるといいと思う。

〈委員〉企業にもメーカーとサービス業、ものづくりの企業、金融関係とあるが、やはりサービス業のほうが女性の活躍する場面が多いのではないかな。ものづくり主体とする企業においてはやはり熟練を要する。本当のノウハウは独自のものが非常に難しい。私は医療関係の会社にいたが、女性も非常に活躍していた。ただやはり長年、10 年 20 年ノウハウを知っているのやはりベテランの男性が多かったので、その辺がうまくかみ合っていけば非常によくなると思う。私も一時期人事、採用も担当していたが、女性の場合は結婚されて退職される例が非常に多く、企業の中核までは上り詰められないところがある。市町村などの窓口業務は非常に女性向いていると思う。

〈委員〉今年退職で現場からは離れたが、公務員は大変育休もとりやすく、年次休暇もしっかりしているので、そういう点で最も働きやすい場だと思っている。自分は 40 年間勤めて、最初に育休を取り、保育園にも未満児で預けた。そのころは本当に初めてだったのでいろいろ言われたが、制度があったことによって私たちは、公務員として 40 年間も働いて来られた。40 年たってやっと今、公務員の方も、ほとんど女性は育休とられる。そういうところで教員や公務員はいいと思われるかもしれないが、率先して、女性が取ってそこから一歩広げていくことが必要だと思った。私の息子の友達が瑞浪市役所に勤めてみえて、男性で育休を取られた。いろいろな事情があると思うが、たいへん画期的だと思った。小さな一歩から大きく徐々に広げていくしかないかなと思う。ただそれは、やれるところから、やれる方から、それを周りの方は、大きな広い心を持ってやっていかないと本当に進んでいかないと。本当に諸事情がたくさんあって、女の人が仕事をするのは本当に難しい。でも、40 年前と想ったら本当に進歩している。これが、今度、80 年後は多分、もっともっと変わっているのではないかなと思う。

〈議長〉私の友人も教員でほぼ初めて育休をとったメンバーが多いので、御苦労がしのばれるが、何しろ、誰かやらないと始まらない。

〈委員〉育児休業、女性の活躍推進という言葉に関して企業の捉え方は経営者の考えによって様々。この経営者の考え方は、その人がどう考えているかより、年代によって大体傾向が分かれる。若い経営者は、当たり前と思っている。ところが、御年配の経営者に行くほど、「女が育児休業取って、男が取るなんてそんなもの要らないよ」と思っている人がたくさんいる。世代間によって考え方が分かると感じているが、この部分の啓発活動はそれほど一生懸命力入れなくても、恐らく経営者が変わればポンと変わるだろうと感じている。むしろ必要だと思うのは、女性自身の考え方。女は結婚してすぐ辞めるとか、なかなか定着しないと感じていらっしゃる方も多いと思うが、実はこれは、女性が「結婚したらすぐやめる」とか「出産したらやめるのが当たり前」だと思っている。あとは親がそういう教育をしている。こういった傾向は田舎に行けば行くほど強く、本人は仕事をしたくてもやめざるを得ないという事象も実際は起こっている。このあたりも、人が足りな過ぎて働かざるを得ない時代になっているので、それほど力入れなくても順番に変わってくださると思う。会社として今後やっていかななくてはならない事は、新入社員として入った女性が、昇進して、管理職になれる教育システムの構築。男性は順番に昇進できてそれに伴う教育システムがあるが女性はない。ない中でやってきた人を、いきなり明日課長になると言われたって出来るわけがない。同じ様に勤務して、同じ様に成績を残せば、同じ様に昇進できるような仕組みを導入していくことが、管理職の数が増える具体策になると思う。ただ、今後は人数も減ってくるので、この昇進システムが本当に正しいのかどうかはまた別の問題だと思う。

〈議長〉ある種、時間を味方にするという大変貴重な意見だと思う。

〈委員〉先日テレビに東大生で女装をする男の子をみた。東大生曰く、あと100年位したら男女の区別などなくなるのではないかと。昔は、力仕事は男がやる、女の人が子供を産む、けどこれからは、力仕事は機械がやるし、子供は人工授精、体外受精で生める、女装したい男性は自分の好きな格好をする。東大生の女性も、女装が趣味の男の子を「いいと思う」と言っていた。

今の若い子供は「男だから」「女だから」というのは全くなく、考え方が柔軟で頭もやわらかく、生まれつきもみんな一緒、男も女も一緒という感覚。男女共同参画というこういった議論をすること自体が古い考えという様に、しきたりなども今の人たちが亡くなってしまえば自然になくなるのではないかと私思う。

〈委員〉男女と体が違う。女性に向けた職業もあるし、男性に向けた職業、両方どちらでもできる職業と、職種によって男女共同参画を考えるべきものもあると思う。男が管理職というのが昔の考え方だが、本田技研では本田宗一郎が「東大出ようが、中卒であろうが管理職になれる」という考えを持っていた。上の人間がどう思うかによると思う。

〈議長〉ある大学で、始め4月に会ったときは明らかに男性の格好をしてきた学生がどんどん変わってきた。全然違和感がなかったが、呼びかけをどうしようかと思ったり、グループ分けをするのに「男女3人ずつ」と言ったときに、どちらに入ってもらおうかとか迷うようになってきた。男女を分けるということもこれから少し考えていかななくてはならないと実感した。

〈委員〉LGBTについては、人権擁護委員の中では一つの課題としてこれから取り組んでいくべき問題だということで、いろいろなところで話が出る。世の中がだんだん変わってきて100人の中の四、五人はそういう気持ちの方がみえるということを知った。女子の大学あたりでも今まで男子採用が通らなかったのが、入学を許可するというような話もあり、だんだん世の中が様変わりしてくるということを実感しておるのが現状。

〈委員〉男性、女性ではなく、その人価値をどう見るかという見方をしていきたいと思いますというのが、人権擁護の面からだと思う。その面からいうと、男性だから女性だからではなくて、その人にその仕事が合うのか、その職種が合うのか、役職が合うのかという考え方をしなくてはいけないとも思った。感想を読んで一番「社会通念」という部分がどこにも響いてくる。一般的に「男とはこういうもの女とはこういうもの」というのが全部に響いてきているということを知った。時が解決していくと聞くと、100年後にこの問題がなくなるかなと思いつつも、今、私たちがここで話し合うのは100年後のためではなくて、今どうするかの部分なので、本当に難しいと思う。

保育士の面からいくと、全く女性しかいなかった「保母」と呼んでいた時代から、男性保育士が出てきて「保育士」という名前にも変わった。育休については私も取り始めた最初の世代、今は当然のようにとっていかれる。周りの事を見ると、地道だけれども、少しずつ確実に変わってきていると感じる。

〈委員〉性的マイノリティーの友人がいる。40代ぐらいから、自分は自由に服装もやりたいようにしたいと思われて、男性の体で生まれたけれど、女性の格好してみえる。その方と話していると男、女ではない、一人の人間として仲良くなれた。小学生はその方のことを一人の人として見ているが、町のおばあちゃんたちは好奇な目で見て笑っている。その様なことを見ると教育の違いを大変感じる。これからの子供たちには不安は余り感じないが、やはりお年寄りの方はまだ理解されないと思う。その方にお話を聞いたら、一番困ることがトイレで、多目的トイレを使用するが、数が少なく、無いところもあるので困るとのことだった。多目的トイレを増やしていくことも必要だと思う。

アンケートで性別に丸をつけるところに、友人のことを思うと何か違和感を持つようになった。どうしても分ける必要がなければ、市のアンケートや公的な統計から男女をつけないのもよいのではと思う。

〈委員〉意識がどんどん変化して、男女平等という機運が高まってきていることは良いことだと思うが、性差という歴然としたものがあり、したがってその役割分担というものがある。それはもう若い世代には、確実に回ってくる。子育てなどいろいろあると思うが、そういうことを乗り越えてだんだんと、年齢によって男女ともに力を蓄えていく。40、50代という年齢になったあたりから男女共同参画というのが、実を上げていくのでないかと思う。大切なのは男性が女性を思いやる、女性が男性思いやるということをしつづけて、そういう社会をぜひつくっていただければと思う。100年後はもう全然変わっているような意見が出ていたが、これは変わらないと思う。今までの男女共同参画社会、どんどん

良い方向に行って、いろいろな考えがあると思うが、最初に言ったように役割がある。女性は女性の、男性は男性の役割をしっかりと果たして社会が成り立っていく。そういう中でそれぞれ思いやって、女性も男性も満足していけるように譲り合い精神でいていただければと思う。

〈委員〉男女の役割で常々思うのは、やはり教育が一番大切で、子供の頃からの意識づけや教育環境によると思う。特に自分たちは昔なりの教育だったので「男は外で働いて、女の人が家庭を守る」というような形だった。環境も変わってきて、教育的にそういう昔ながらの男女の役割という区別がなくなっていけば、そういう意識はだんだんなくなっていくのかと思う。それから、社会が変わっていかないといけないとも思う。昔であればちょっと体の不自由な人がいれば、いろいろな差別用語があったが、今ほとんど耳にしないということは、差別をすること自身の意識が皆からなくなっていくのではないかと思う。環境や社会の意識が変わっていけばその様になっていく。男女共同参画も自然になっていくと言われた方もみえるし、そうじゃないと言われた方もみえるが、みんなが意識して、思いやりも必要だが、制度的に社会自体が同じように、皆が参加できるような形にしていかないと進んでいかないのではないかなと思う。

4) 国・県計画等との関係について

〈議長〉市の総合計画のパブリックコメント募集中ということだが、その中で男女共同参画に関する意見が出てきたら、この会議にフィードバックしてもらえるか。

〈事務局〉意見があった場合は次回報告する。

〈議長〉全体のスケジュールの中で、この審議会がどのくらいのタイミングでプランを再度検討するのか。

〈事務局〉次回会議を11月上旬に予定しており、そこで各課からの施策を確認、御意見をいただいた後、市役所内の幹部が新たに作り直したプランを確認し、パブリックコメントを1月頃に予定。その後にもう一度皆さんにお集まりいただき、パブリックコメントからの意見を反映させて、最終的な案とする。

5) その他

配布資料の案内

◇10/13 みずなみ防災会講演会

◇10/14 東濃人権啓発活動ネットワーク協議会 人権啓発講演会

閉会のあいさつ

以上